

## 次号予告

### 特集 公益事業における規制緩和

電気事業の全要素生産性	伊藤 成康 (武蔵大学)
「規制緩和」の効果を推計する	鳥居 昭夫 (横浜国立大学)
経済的規制と株式投資リスク	竹中 康治 (東京電機大学)
航空事業における規制緩和	醍醐 昌英 (慶応大学)

### 編集後記

#### ● OR学会の正会員になりました。

サラリーマン人生もあと10数年となった。月日の経つのが早いと感じるこの頃である。今までは賛助会員として活動させてもらっていたが、編集委員を引き受けることになり、やっと個人会員になることができた。昔から会員になる意思是常にあった(過去に何度も申し込み書を送ってもらった)のであるが、手続きがおっくうで机の中に眠っていた次第である。聞くところによると銀行からの自動引き落としも始まったとか、会費支払催促のご面倒をかけずに済むと安心している。これも、EDI/ECの発展のおかげであろう。

#### ● 数理計画法の強み

今月の特集である数理計画法の強みは何といっても理論的に最適解を得ることができる方法論にある。制約条件、データが不備でも、とにかく与えられた条件のもとで最適な解をみつけてくれるということは、利用する立場からしてみれば非常に大きな意味を持つ。自分の提案した意思を他人に認めてもらうには「こんな条件のもとではこれが最適なんですよ」と言えるからである。数理計画法の潜在能力は素晴らしく、もっと社会に貢献できるのではと考えている。

#### ● アジャイル経営

企業においてORをビジネスとしている立場からみると、最近のトレンドは、「アジャイル (agile) 経営」である。加速する市場変化に機敏に対応するため、リアルタイムでの実績把握/分析、問題解決のためのネックの解消とグローバルな最適化が必要であり、需要予測、供給計画、スケジューリング、物流計画などの意思決定支援機構が重要となっている。やっとOR手法を活かせる時代が来たと言ってもよく、この流れをうまく捉えていく必要を強く感じている。1998年のキーワードの1つは『知的資本』とか、ビジネスにインテリジェンスを導入することをスローガンにORを強くアピールしていきたいものです。

#### ● ORと経営科学(名前を新しくしましょう)

データベースの発展とともに、ビジネスにおけるデータの活用がますます重要になっている。データマイニングのキーワードで統計手法、GA、ニューロ手法が、エージェント指向の名のもとに、AI手法が、サプライチェーンマネジメントの名のもとに、最適化手法、スケジューリング手法が蘇りつつある。リフレッシュしたイメージを出すためにもORの名前を見直し、経営に役立つ科学であることをもっとPRし、実践していくことが重要ではないでしょうか。

(宮崎知明)

## オペレーションズ・リサーチ 編集委員会

委員長 大山達雄(政策研究大学院大学) 副委員長 田口 東(中央大学)

委員 上田徹(成蹊大学), 葛山康典(早稲田大学), 國澤直樹(東京電力㈱), 栗田治(慶応義塾大学), 笹山晋一(東京ガス㈱), 猿渡康文(筑波大学), 椎名孝之(助電力中央研究所), 繁野麻衣子(筑波大学), 清水康司(青山学院大学), 外嶋成留(住友金属工業㈱), 田中宏和(神奈川工科大学), 田村明久(電気通信大学), 原 裕淳(㈱東芝), 宮崎知明(富士通㈱), 矢島安敏(東京工業大学), 山下英明(駒澤大学), 吉野秀明(日本電信電話㈱)

本誌に掲載された記事についての著作権は、社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会に帰属する。

## オペレーションズ・リサーチ

平成10年2月号 第43巻 第2号 通巻446号

代表者 刀根 薫

発行所 社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会  
東京都文京区弥生2-4-16 学会センタービル  
電話 03-3815-3351(代) FAX 03-3815-3352 〒113

編集人 大山達雄

発売所 株式会社 日科技連出版社

東京都渋谷区千駄ヶ谷5-4-2 〒151

#### ● 本誌のご注文は直接

日本オペレーションズ・リサーチ学会へ 定価 970円(本体924円) 年間予約購読料11,040円(税込)

#### ● 本誌への広告お申し込みは明報社(3546-1337)、日経弘報社(3563-2241)へ